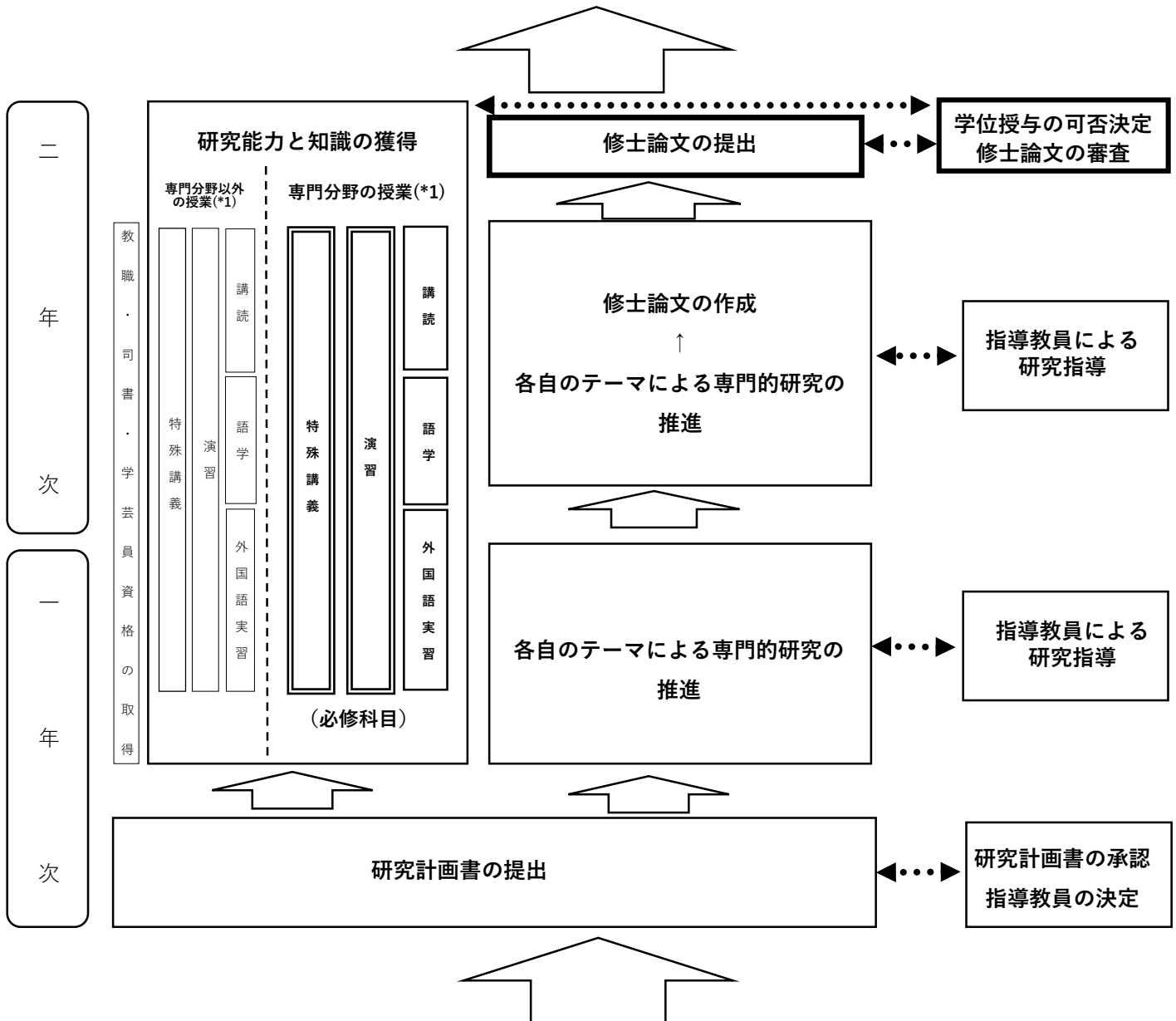


(東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学)

目 標	<p>(1) 哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、高度な知識に基づく研究能力と、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけている。</p> <p>(2) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の分析に基づいてオリジナリティを有する研究を進める能力を身につけている。</p> <p>(3) 専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。</p> <p>(4) 研究成果を世界に向けて発信するために必要なレベルの語学能力を身につけている。</p>
--------	---



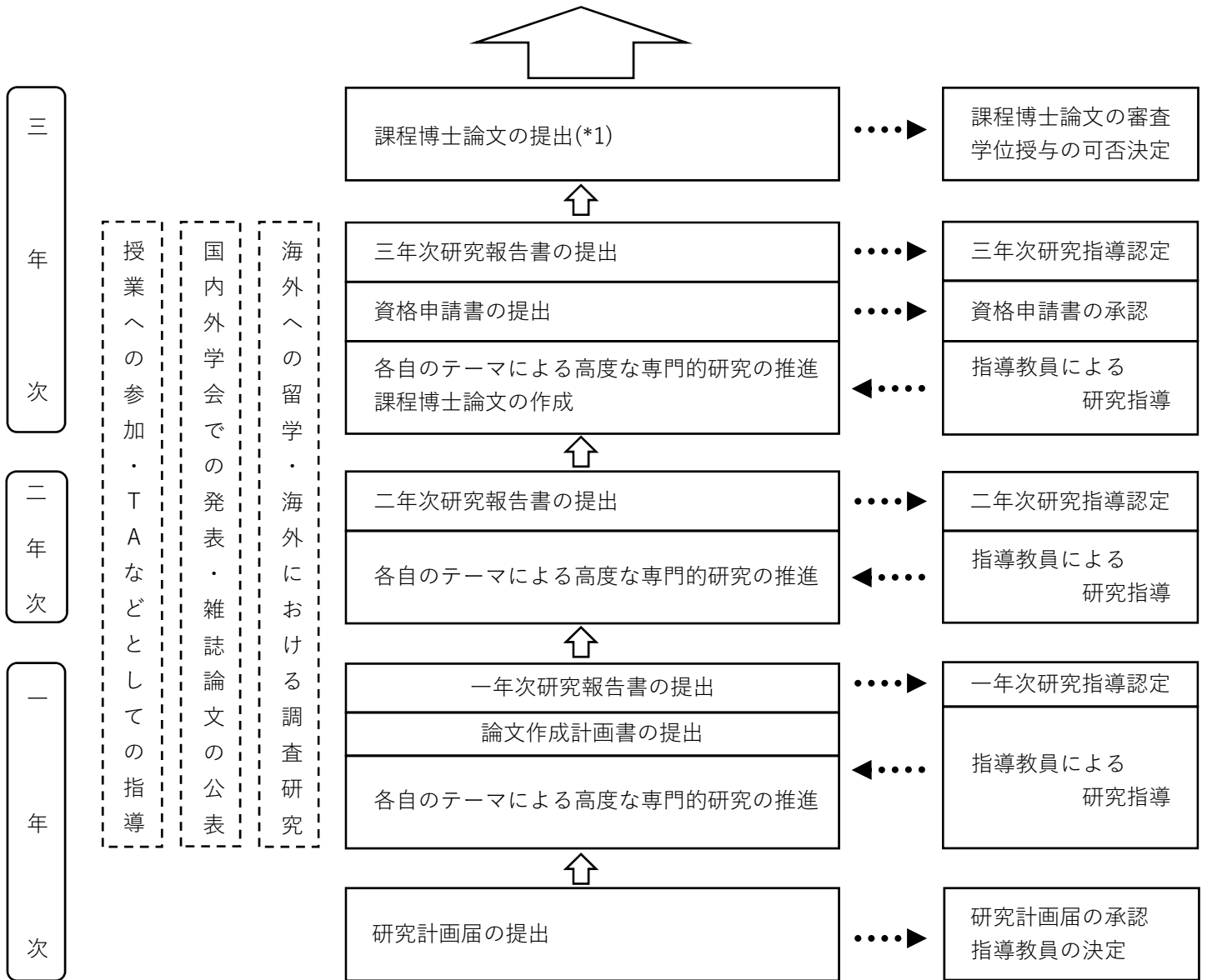
入 学 の 要 件	<p>(1) 志望分野に関する専門的知識を有しているとともに、人文学全般にわたって広い知識をもっている。</p> <p>(2) 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、原典や一次資料の適切な分析に基づいてそれを解決する能力をもっている。</p> <p>(3) 将来国際的な場でも活動しうるだけの外国語能力の基礎を具備している。</p>
-----------------------	---

(*1)専修ごとに開講科目の種別は異なり、また必修科目の単位数も異なる。

京都大学 大学院文学研究科 博士後期課程カリキュラム

(東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学)

目 標	<p>(1) 哲学・歴史学・文学・行動科学のそれぞれの専門分野において、専門的研究者として自立できる研究能力と、指導的な高度専門職業人としての能力を身につけている。</p> <p>(2) それぞれの専門分野において、原典や一次資料の高度な分析に基づいてオリジナリティの高い研究を進めるとともに、研究の成果と学術的意義を適切に把握する能力を身につけている。</p> <p>(3) 専門家としての強い責任感と高い倫理性をもって研究を遂行する能力を身につけている。</p> <p>(4) 研究成果を世界に向けて積極的に発信するとともに、国際的な連携のもとで研究を推進する能力を身につけている。</p>
------------	---



の進 学・ 編入 学 要件	<p>(1) 志望分野に関する深い専門的知識を有しているとともに、人文学の研究を通じて学術の高度化に寄与する能力をもっている。</p> <p>(2) 志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定することができ、原典や一次資料の精緻な分析に基づいて、課題を解決する能力をもっている。</p> <p>(3) 日本語、外国語によって、研究成果を国内外に効果的に発信するための語学能力を具えている。</p>
---------------------------	---

(*1)在学中に学位論文を提出せずに研究指導認定を受ける者は、三年次研究報告書を提出して、研究指導認定退学する。退学後3年以内であれば課程博士論文を提出することができる。